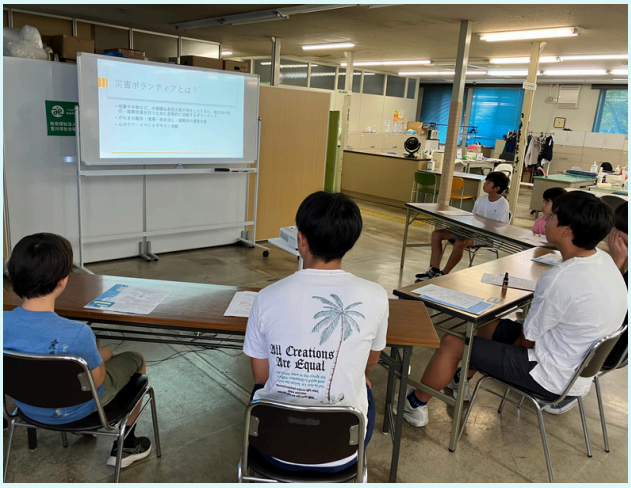
令和８年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	防災チャレンジ~キミは災害から身を守れるか！？~
2	実施社会福祉協議会	吉川市社会福祉協議会
3	協力団体	埼玉県立大学 災害ボランティアサークルリンク
4	活動年月日	令和８年８月２２日
5	活動場所	吉川市社会福祉協議会
6	内容	災害ボランティアとして活動した大学生と一緒に、防災ドリルやゲーム、炊飯体験を通して防災を自分事として考える

活動の様子



大学生から能登のお話と子どももできるボランティアの話を聞く





ぼうさいドリルでトイレや居場所について考える

子どもたちにも、災害を知り、防災の大切さや災害が起きてしまったときに自分たちでできることを知って欲しくて、夏ボラのメニューとして開催しました。実際に災害ボランティアとして活躍している大学生に講師役をお願いしたため、より身近に感じたようです。

吉川市ボランティアセンター職員



炊飯袋で炊飯体験。「おにぎりおいしかった！」

参加者の声

・災害はとても身近なもので、自分も災害の復興に協力できることを知った。
・災害ボランティアは自分の年齢じゃ何もできないと思っていたのですが、この年齢からでも色々なこともできて手助けできることが分かった。
・災害の備えをすることが大事だという事が分かりました。
・大学生の身近な人たちが能登のボランティアに参加していて、実際の映像や写真を見たことが心に残りました。



持ち出し品ゲーム「これ持ってぐ~」